

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	南陽市役所
実習期間	令和元年 8月 21日 ~ 令和元年 8月 26日
学生氏名	山口 みなみ
実習プログラム	<p>1日目【総務課】</p> <p>8：30 市役所業務等概要説明（全般） 本庁舎見学 会議資料（市政計画書）のホチキス止め</p> <p>12：00 昼食</p> <p>13：00 市報作成の業務について（説明・意見交換） 16：45 研修報告書作成</p> <p>2日目 8：30 南陽市文化会館概要説明 意見交換、ワークルーム</p> <p>11：00 白竜湖についてのワークルーム 12：00 昼食 13：00 山形BFTC 加藤健一さん 心のバリアフリー取り組み説明 意見交換 16：00 南陽スカイパーク見学 16：45 研修報告書作成</p> <p>3日目【商工観光課】</p> <p>8：30 朝礼 8：45 長沢課長のお話 9：00 商工観光課業務内容説明 9：45 休憩（山形食品「山形代表」ジュース試飲） 10：00 ワトワセンターにおけるミーティング 10：45 企業訪問（宮城興業） 南陽ふるさと名物応援宣言 11：30 大垣さんによるお話（元地域おこし協力隊、icho café オーナー） 昼食・休憩（icho cafe） 13：15 熊野大社訪問 14：20 ふるさと納税についての説明 16：45 研修報告書作成</p>

	<p>4日目【商工観光課】</p> <p>8:30 朝礼</p> <p>8:45 菊まつりについてディスカッション</p> <p>10:15 施設見学（観光ぶどう園、からころ館）</p> <p>12:00 昼食・休憩（肉の旭屋）</p> <p>13:00 施設見学 旅館（御殿守）</p> <p>14:00 南陽の観光についてのディスカッション</p> <p>15:00 休憩（試食）</p> <p style="padding-left: 40px;">グルメ商品開発についての説明、意見交換</p> <p>15:20 南陽市を SNS で PR（Facebook）</p> <p>16:45 研修報告書作成</p> <p>5日目【総務課】</p> <p>8:30 朝礼</p> <p>8:40 市長との面談</p> <p style="padding-left: 40px;">【みらい戦略課】</p> <p>9:00 資料作成のお手伝い</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 資料作成のお手伝い</p> <p>14:00 資料のデータ化のお手伝い</p> <p>15:30 「おきタク」について</p> <p>16:00 研修報告書作成</p>
<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>市役所の仕事は実際にも様々な課があるように、幅広い視点・活動から南陽市や市民を支えていることがわかった。私は、普段の講義でも観光・まちづくりの視点での地域活性化について学んでいる。しかし、市役所は単に“観光の仕事”といっても、観光を代表する商工観光課は、南陽市の PR だけでなく企業支援や雇用創造、ふるさと納税など、観光を幅広い視点からとらえ、市民のために仕事をしていることがわかった。市役所は、市民を支えていくために様々な部署の様々な視点をつなげる仲介の役割を持っている場所であることを学んだ。</p> <p>また観光について市役所の方々とディスカッションを通して、観光について改めえ深く考えることができた。普段から観光の視点をを用いて仕事なさっている方々の考えを、実際に聞くことができる機会はなかなかないので、とても貴重な時間であった。観光とは、経済効果やまちづくりのための手段であり、さらに人づくりをしていくためのものであることを学んだ。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>これからゼミに入り、より深く観光・まちづくりを考える講義を通して、傾聴力で聞き入れ学んだことを、これからどのように行動していけばいいか考えるきっかけにして、課題を見つけ最終的に行動に移していけるようにしたい。</p> <p>また、将来について自分がどうしたいかどうなりたいかを改めて考えることができた。この5日間の実習を通して、地元のためにこれから大学で学んでいく観光・まちづくりという視点を活かした仕事をしたいという思いがとても強くなった。もっとインターンシップや市民の方々とかかわることのできるボランティア、アルバイトでの接客など、様々な活動を通して将来について考えていこうと思う。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>高校生の時から、南陽市の市職員として南陽市のために地域活性化に貢献できるような仕事をしていきたいと考えていた。そして今回初めて、南陽市の市役所にインターンに行ってみて、想像していた仕事内容とはギャップが多くあった。これは、インターンシップで実際に自分の目で確かめ、実際に働いている方々たちのお話を聞かなくてはわからないことだと感じた。改めて市役所職員の魅力に気づくことができたと同時に、将来観光を通じた地域活性化に貢献するため、他にどのような仕事があるのかも視野を広げていきたいと感じた。視野を広げることで、新たな発見や出会いを見つけることができるかもしれないし、またはさらに市役所職員の魅力を発見できるかもしれないということに気づけた。</p> <p>さらに、今回のインターンシップを通して、他大学生との交流も行うことができた。他大学の学生は大学でどのようなことを学んでいるのか、将来どのように考えているのか、など様々な意見を交換し合うことができ短い期間ではあったが互いに切磋琢磨しあうことができた。インターンシップ終了後は、お疲れ様会を開き、とても仲良くなることができた。</p> <p>これらのことは、実際にインターンシップで体験したために気付くこと・体験することができたことである。本当にこの5日間は毎日新鮮で濃密な時間でとても楽しかった。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	